

音楽あふれるまち

# とよなか 音楽月間

2024. 9/29sun - 12/8sun

計 61 の音楽イベントが  
街中で開催!



お問合せ 豊中市 都市活力部 魅力文化創造課  
電話 06-6858-2503 〒561-8501 豊中市中桜塚3-1-1

詳細情報は、市のホームページから

とよなか音楽月間

まちなかクラシック



主催 豊中市



# 豊中まちなかクラシック2024

日本センチュリー交響楽団とともに

日本センチュリー交響楽団が特別に編成する多彩なアンサンブル。寺院、教会等を会場にまちなかで楽しむクラシックコンサート。豊中市と同楽団が織り成す「音楽あふれるまち」をお楽しみください。



**応募方法** 市ホームページの申込フォームから応募。はがきの場合は必要事項【郵便番号・住所、参加希望の公演名・番号、参加者全員(2名まで)の氏名・ふりがな・年齢】を記載し、下記宛先まで郵送。はがき1枚につき、1公演。重複しての申し込みはできません。記載漏れ等がある場合は無効となります。抽選結果については当選者のみ、はがきにて通知します。

**宛先** 〒561-8501(住所不要)豊中市役所 魅力文化創造課  
※未就学児不可。 ※車や自転車での来場不可。 ※車いすでの来場に関しては事前にお問合せください。

**公演番号①～③:9/12(木)必着** ※9/27(金)までに当選通知を送付  
**公演番号④～⑦:10/11(金)必着** ※10/31(木)までに当選通知を送付

公演  
01

## みどりの象たち、ふたたび～コントラバスだけのコンサート

10/12(土) 19:00～20:00 日本福音ルーテル教会

村田 和幸(コントラバス)／内藤 謙一(コントラバス)  
丹澤 加奈子(コントラバス)／三井 脩平(コントラバス)

ブランビー:4台のコントラバスのための組曲  
アンダーソン:7つのデュオ、ハチャトゥリアン:剣の舞 他

4頭の象たちが、またやってきました。楽しかった昨年のことを思い出しては、今年もがんばろう!となにやら相談しています。ただ、コントラバスだけの演奏会です。「おなじみの曲を揃えて」というわけにはいかないようですが、楽器にまつわるお話も交えて、皆さまと楽しい時間を過ごせたら...と考えている様子です。どうぞ一緒に!

(コントラバス/内藤)



公演  
02

## 歌曲王のチェロ

10/13(日) ①12:00～13:00 ②15:00～16:00 桜の庄兵衛・米蔵

北口 大輔(チェロ)／園田 育実(ピアノ)

シューベルト:アルペジオーネ・ソナタ  
シューベルト:主題と変奏 他

「歌曲王」で知られるシューベルトはその美しい旋律と独特の音楽観で数多くの作品を残しています。人間の声に最も近い楽器であるチェロとはとても相性のよい作曲家といえるでしょう。旋律美に溢れるその作品をチェロとピアノの音色でたっぷりとお楽しみください。

(チェロ/北口)



©Yusuke Kinoshita

公演  
03

## 4人でオーケストラ!?

10/13(日) 14:00～15:00 東光院 萩の寺

松浦 奈々(ヴァイオリン)／道橋 倫子(ヴァイオリン)  
飯田 隆(ヴィオラ)／渡邊 弾楽(チェロ)

ショスタコーヴィチ:弦楽四重奏曲 第8番 作品110  
「ファシズムと戦争の被害者の思い出に」  
ベートーヴェン:弦楽四重奏曲 第2番 作品18-2 [挨拶]

アンサンブルの集合体であるオーケストラは、広い音域と多彩な音色で大音量の重厚なサウンドをつくります。人間が夢中になってこの巨大化を追い求めてきた一方、ハイドンの時代から現代にいたるまでその波にのまれることなく脈々と残り、確立されているのが弦楽四重奏という編成です。オーケストラの最小単位とも言えるミニマルなアンサンブルを是非間近で味わっていただきたいです。(ヴィオラ/飯田)



公演  
04

## Made in America!

11/12(火) 19:00～20:00 日本キリスト教団 豊中教会

笠野 望(バス・トロンボーン)／大山 宮和瑚(ピアノ)

イヴェイゼン:Rhapsody  
ブライアー:Thoughts of Love  
スビルマン:Two Songs 他

バス・トロンボーンという楽器名は実は和製語です。英語ではベーストロンボーン、ドイツ語ではバスボザウネ、日本語ではそのあいだのような名称、バス・トロンボーン。今回は「ベーストロンボーン」でアメリカの作曲家のみのプログラムを組んでみました。ボストンに留学していた時のこと、そこで感じたアメリカ人の気質や雰囲気、空気を感じてもらえると思います。(バス・トロンボーン/笠野)



公演  
05

## 古典から現代へ～クラリネット、バセットホルンと弦楽で迎える響きの変遷

11/17(日) 14:00～15:00 西福寺

持丸 秀一郎(クラリネット・バセットホルン)／池原 衣美(ヴァイオリン)  
永松 祐子(ヴィオラ)／末永 真理(チェロ)

モーツァルト:クラリネット四重奏曲、ペンデレツキー:クラリネット四重奏曲  
ドルシェツキー:バセットホルン四重奏曲、コーカイ:クラリネット小四重奏曲

クラリネットと弦楽の相性の良さは多くの作曲家の創造力を駆り立て、数多くの名曲が生み出されてきました。今回は弦楽三重奏との組み合わせをお届けします。古典派のモーツァルトとドルシェツキー(チェコ)は、クラリネットとバセットホルンの柔らかな音色を生かした作品です。ペンデレツキー(ポーランド)とコーカイ(ハンガリー)は近現代の作曲家で、民族色溢れた作品です。時代やお国柄を反映した響きの変遷をお楽しみください。(クラリネット/持丸)



公演  
06

## ハイドンから受け継ぐもの～様式美の継承

11/22(金) 19:00～20:00 センチュリー・オーケストラハウス

永江 真由子(フルート)／渡邊 弾楽(チェロ)  
山中 歩夢(ピアノ)

ハイドン:三重奏曲 ニ長調 Hob.XV:16  
ドビュッシー:三重奏曲、ウェーバー:三重奏曲 作品63

古典派の礎を築いたハイドン。このピアノトリオではフルートとピアノの美しい掛け合いを堪能できます。ウェーバーのトリオは歌劇「魔弾の射手」と同時期に書かれ、朗々と歌うチェロからは歌劇作曲家としての才を感じとれます。ドビュッシーのトリオは18歳の作品で、《小組曲》のような古典的な美しさが特徴的です。今回はヴァイオリンをフルートに代えて演奏します。時代を越えて様式美に魅せられた三者三様の美をお楽しみください。(フルート/永江)



公演  
07

## オペラ・ガチャコンサート

12/8(日) 13:30～14:30 日本キリスト教団 梅花教会

荒井 英治(ヴァイオリン・ピアノ)／関 晴水(ヴァイオリン)  
永松 祐子(ヴィオラ)／望月 穂子(チェロ)

モーツァルト:オペラ「魔笛」の主題による組曲  
プッチーニ:菊、ピゼー:カルメンファンタジー  
ヴェルディ:弦楽四重奏曲より第3・4楽章 他

いつもは讃美歌の響く梅花教会で「ドラマと音楽」と言われるオペラの名曲を、ときにひっそりとまた烈しく、艶やかな弦で歌います。素晴らしい台本作家と天才作曲家のタッグをモーツァルトから今年没後100年のプッチーニまで、荒井さんの解説と共に楽しみ下さい。

(ヴァイオリン/関)

